

<p>1 基本計画策定の趣旨 新校舎等の整備方針や施設規模、諸室計画、配置計画など、基本的事項についてとりまとめ、基本・実施設計の指針とするもの。</p>	
<p>2 統合新校の基本的枠組み 課程：全日制 学科（募集定員）：農業科（80人）・工業科（120人）・商業科（120人）</p>	
<p>3 整備計画</p> <p>(1) 整備予定地 栃木市片柳町（栃木商業高校敷地） 約 36,000 m<sup>2</sup></p> <p>(2) 整備方針 新校の基本的枠組みに基づき、標準的な施設を確保するほか、以下の点を踏まえて整備。</p> <p>① 特色ある学校づくりを推進するための施設 各学科の専門教育を十分に行った上で、異なる学科の生徒同士が連携・協働して1つの課題を探究的に学ぶなど学科横断的な学習を推進していく未来共創型専門高校の特色を発揮できるよう、少人数指導で使用する実習教室のほか、学科の枠を超えた幅広い視野で探究的に学べるような施設を整備する。</p> <p>② 生徒の主体的な学習活動を支援するための施設 生徒の学習成果の発表・討論のための場や自主的・自発的な学習を促すための空間など、学習指導要領（令和4（2022）年度施行）が重視する「主体的・対話的で深い学び」を支える施設を整備する。</p> <p>③ 専門的な実験・実習等の学習活動を支援するための施設 関連する教室の連続性や屋外の活動空間との連携等の配置に留意しつつ、実験・実習教室には、座学で使用する空間のほか、安全に使用するための動作空間を有するように設備を配置でき、教材、教具等の収納や視聴覚機器の設置ができるような施設を整備する。</p>	<p>④ 地域産業等と連携した学習活動を支援するための施設 学校だけでは触れる機会の少ない先端技術や、地域産業への理解を深められるよう、地域や企業の人材を活用した学習活動などを充実させるとともに、安全性等にも配慮した施設を整備する。</p> <p>⑤ 快適性やユニバーサルデザインに配慮した施設 生徒の学習及び生活の場として、採光、通風、室温、音等の影響に配慮した快適な環境を確保するとともに、障害のある生徒や学校を訪れるすべての人々が利用しやすいように、「栃木県ひとにやさしいまちづくり条例」（平成11（1999）年施行）に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した施設を整備する。</p> <p>⑥ 安全性を備えた施設 耐震性や耐浸水性等の防災性や、不審者の侵入防止等の防犯性など、十分な安全性を備えた安心感のある施設を整備する。</p> <p>⑦ 時代の要請に柔軟に対応できる施設 将来の教育内容の変化や情報通信機器の進展等に対応して、空間構成の変更や設備・機器等の更新が容易に行えるような柔軟性の確保や、維持管理のしやすさも含めた施設の長寿命化を考慮した施設を整備する。</p> <p>⑧ 環境に配慮した施設 屋根・外壁等への十分な断熱材使用など、省エネルギー対策を徹底し、ZEB Ready を目指すとともに、太陽光など再生可能エネルギーの導入や木材利用、高効率空調機器の導入など、環境負荷の低減に配慮し、環境教育の教材としても活用できる施設を整備する。</p> <p>⑨ 景観に配慮した施設 「栃木市景観計画」（平成28（2016）年変更）を踏まえ、良好な景観の形成にも配慮した施設を整備する。</p>

